

県都デザイン戦略

vol.1
創刊号

プロジェクトレポート

平成 25 年 10 月 発行

県都デザイン戦略プロジェクトレポートを発行します！

平成25年3月、福井県と福井市は共同で県都デザイン戦略を策定しました。本プロジェクトレポートは、県都デザイン戦略の各プロジェクトの進捗や関連する事業、イベント等についての各種情報を掲載し、県民、市民の皆様へお伝えすることを目的として、随時発行していきます。

創刊号では、今年度動き出した各事業の内容と進捗状況の概要についてレポートします。

福井城山里口御門の復元整備

基本設計に着手、遺構の発掘調査を実施

福井城址と中央公園などを一体化した「福井城址公園」の先行整備の一環として、平成 28 年度を目標に、山里口御門を復元整備します。

本丸の西、西二の丸は江戸初期から松林があり山里丸と呼ばれて

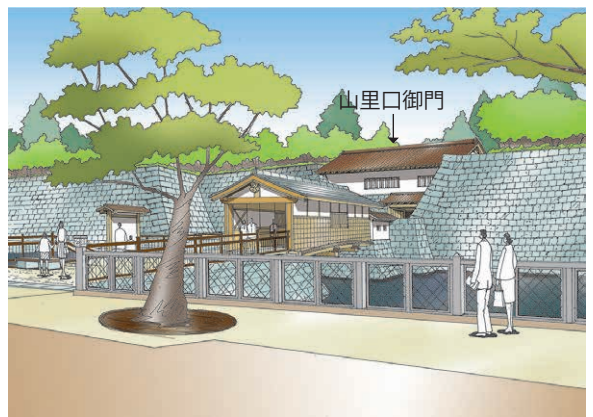
いました。山里口御門は山里丸から本丸への入口の門として、城の創建当時（1606 年）につくられましたが、寛文の大火（1669 年）において、天守閣や櫓とともに焼失。その後、再建されましたが、明治時代に取り壊され、現在は石垣に残る柱跡が往時の姿を偲ばせるのみです。春嶽公などの時代、現在の中央公園の場所に御座所があり、藩主は御座所から御廊下橋を渡り、山里口御門をくぐって本丸へ向かったと考えられています。

今年度は5月より基本設計に着手しており、8月1日（木）には、福井工業大学吉田純一教授を委員長として、設計や復元工事に対して専門家から様々な助言をいただくための、第1回「福井城山里口御門復元考証専門委員会」を開催しました。また、7月から8月にかけて遺構の発掘調査を実施し、礎石や排水溝跡、柱の跡などが確認され、復元に向けた多くの史料が得られました。

詳細は <http://www.pref.fukui.jp/doc/sokou/kennto/yamazato.html>



山里口御門の位置



山里口御門復元整備イメージ



発掘調査によって確認された礎石等の遺構

中央公園周辺再整備事業

全国公募により委託業者を決定、ワークショップを開催

福井城址公園の先行整備として、今年度に中央公園、福井県民会館跡地および周辺道路の再整備に伴う全体の基本計画および基本設計を策定し、うち半分のエリアを平成27年度までに整備します。

計画等の策定業務を行う業者の選定については、公募型プロポーザル方式で全国から募集を行い、一般市民41名が来場した中、公開プレゼンテーションで行いました。審査にあたっては県都デザイン戦略への理解度や、ランドスケープ※の専門的な技術力を基準として委託業者を株式会社ランドスケープデザインに決定しました。

今後は、基本計画および基本設計に市民の皆さまから御意見をいただくためワークショップを2回行い、1回目は公園の設備や機能について、2回目は公園の利活用の方法について議論していただきます。また、パブリックコメントも11月末ごろより行い、提出されたご意見等を踏まえ、最終的な計画等の作成を行う予定です。なお、10月19日には中央公園を楽しく使う活用社会実験として、第1回中央公園ピクニックイベントを開催します。是非ご参加ください。

※ランドスケープとは

本来の意味は「景観を構成する諸要素」です。その土地が持つ政治的、経済的、社会的要素を基盤にして、都市空間や造園空間、建築群(まちなみ等)を設計、構築する技術者のことをランドスケープアーキテクトといいます。

株式会社ランドスケープデザインの提案：社交と創造の“広場”をつくる

中央公園を、市民と来街者が集まり、新たな福井を創造するための実験的な“広場”と捉えた提案です。今後、福井城址公園にふさわしく、市民の皆様が親しまれる、具体的なデザインや利用法をワークショップ等を通して計画していきます。

A: 歴史のプロムナード

フェニックス通りから天守台跡に水路およびヴィスタを通し、**県都の顔にふさわしい空間**を形成する

B: 歓迎のプラットフォーム

交通の玄関口として、インフォメーションセンターやバウイリオンなどを配置し、**周囲と繋がる広場空間の形成**を図る

C: 市民活動と創造性のステージ

順化公民館で行われている市民活動を核として、**活発な芸術・文化拠点の形成、活動の機会の創出**を図る



D: 掘端のビューデッキ

土塁の撤去によって**城址への眺望を向上**させる。社会実験を行い、掘端の市道の歩行者空間化を模索する

E: 芝生の社交場

過度の空間分節を止め、**広がり**と眺望を確保する。石垣の遺構を活かし、**城址に向けた層状の空間**を作る。



公開プレゼンテーションの様子 (8月7日)

この提案を、皆様からの意見をいただき、さらによくしていきたいと考えています。アイデアを求めます！

子育て世代のお母さんの声を聞きました！

9月18日(水)・20日(金)、子育て中のお母さんから、現在の中央公園に対するイメージや、これからの中央公園に対する希望を聞きました。

延べ15名のお母さんから、子どもを膝に抱えたり、泣いている子をあやしたりしながら、たくさんの意見をいただきました。

いただいた意見は、基本計画・基本設計に活かしたいと思います。



子育て中のお母さんとのミーティング

主な意見

中央公園に対するイメージ

- ・外から見えにくく、遊ぶ場所があるとは知らなかった。
- ・暗いイメージがあって、安全性が高そうには見えない。
- ・公園内の芝生部分まで行くのに迷路みたいでわかりにくい。
- ・中央芝生の際の段差は子どもにとって危ない。
- ・灰皿が多く設置してある。

中央公園に対する希望

- ・おむつを替えられるスペースや授乳できるスペース。
- ・ベビーカーを押しやすい通路。
- ・子供が歩きだしたとき転んでも大丈夫なようで、ピクニックができる芝生とちょっとした玩具。
- ・日差しをさげるところ(木陰など)。
- ・お堀と公園が一体的で、公園からお堀の石垣を見るイメージだと高級感が出てくる。
- ・子供が遊べる噴水(エンゼルランドのようなもの)。
- ・売店やカフェ。

足羽山・足羽川周辺空間再形成基本構想

ワークショップを開催！

7月に「構想策定委員会」を立ち上げ、市民の皆様からの御意見をいただくため、7月下旬から8月下旬にかけて、構想策定に向けたワークショップ（WS）を全3回開催しました。

WSには公募で集まった市民や大学生、まちづくり団体の代表者ら約30人が参加し、浜町から足羽山までの一帯を4グループに分かれて議論しました。初回は徒歩で、第2回はバスやレンタサイクルで実際に現地を巡り、第3回で、グループごとに委員会への提案内容を取りまとめました。

策定委員会では、歴史や自然を生かした観光誘客のエリアづくりに向け、第2回会合でWSの提案内容を議論するとともに、「市民意識調査」や「パブリックコメント」の結果を踏まえた基本構想を年度内にまとめます。



構想策定の大まかな範囲

WSで提案された主なテーマ

- ・幕末の歴史の活用
- ・足羽川の河川敷を利用した賑わいづくり
- ・寺町や町人文化を生かした回遊性の創出
- ・足羽山の自然環境体験エリアとしての活用 等



WSの様子（まち歩き）



WSの様子（地図を囲んでの検討）

福井市まちづくりセンター『ふく+』を開設

情報発信とまちの将来像を考える場として7月27日オープン！

まちづくりの活動拠点、まちなかからの情報発信の拠点として、7月27日に福井市まちづくりセンターが福井市中央1丁目の福井駅前電車通り沿いにオープンしました。愛称の「ふく+」（ふくたす）は、市民の皆様からの人気投票により決定しました。運営団体であるきちづくり福井会社との協働により、まちなかについて考えるワークショップや様々なイベント等も開催しています。福井駅前にお越しの際は是非お立ち寄りください。

詳細は <http://fukutas.org>



「ふく+」オープニングセレモニー



まちワク（まちづくりワークショップ）

ふく+の活用法

1 まちづくりに関する情報がもらえる！

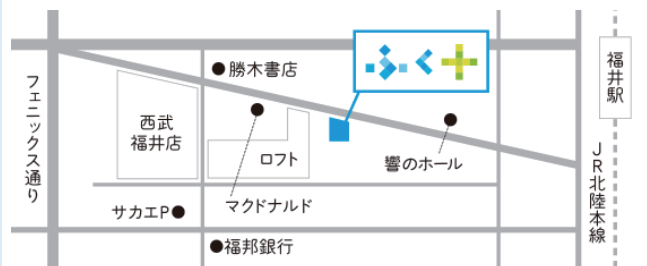
- ・情報コーナーの設置（都市模型設置、バーチャル映像の展示等）
- ・まちづくりライブラリーの設置（関連書籍、パンフレット等）
- ・ホームページ・Facebook等による情報発信

2 だれでもワークショップなどに参加できる！楽しめる！！

- ・常駐スタッフによるまちづくりのご相談
- ・市民ワークショップ「まちワク」→まちなかにぎわい創出、ビジネス活性化の支援

3 個人や団体の活動場所として使える！

- ・まちづくり活動スペース（市民団体、市民活動ひろば）
- ・展示スペース（市民ギャラリー）
- ・ワーキングスペース（コワーキングなど）



910-0006 福井市中央1丁目9-27 マルキヤビル1階
（福井駅から徒歩5分）

通りの景観に配慮した電停デザインへ

福鉄・仁愛女子高校電停のデザイン調整

福井鉄道福武線とえちぜん鉄道三国芦原線の相互乗り入れ事業に合わせ、今年度改修する福鉄仁愛女子高校電停のデザインを決定しました。

緑のシンボル軸であるフェニックス通りにふさわしい電停とするために、市景観審議会の専門部会によりデザインを審査・調整し、周囲の緑や景観になじむ落ち着いた色彩、シンプルな形状を基本として、屋根には仁愛女子高校の校章の色である緑をアクセントカラーとして配色。また、ベンチの設置、ホームの拡幅、掲示板を設置するなど、同校生徒や障がい者団体の意見も取り入れました。

今後、市役所前、公園口、木田四ツ辻の3か所もそれぞれ同様のデザインで改修、各地域に合ったアクセントカラーを配色していく予定です。



改修イメージ 右奥が屋根付き待合スペース

福井城址周辺地区全国コンペ

第16回「まちの活性化・都市デザイン競技」対象地区に

(財)都市づくりパブリックデザインセンター主催の全国コンペ、第16回「まちの活性化・都市デザイン競技」の対象地区が「福井城址周辺地区」に決定しました。特に以下の点について様々なアイデアを募集。平成26年3月に入選発表の予定です。

- ①福井城址を核とした、周囲の緑や業務機能と調和した魅力あふれる都市・空間デザイン
- ②隣接するエリアとのつながりを意識した機能、空間デザイン
- ③市民文化活動が自由に繰り広げられる空間



対象地区
「福井城址周辺地区」
(約34ha)

【スケジュール】

- 応募登録期間 平成25年 9月 9日(月)～10月7日(月)
- 現地説明会 平成25年 10月18日(金)
- 提出期間 平成26年 1月10日(金)～1月16日(木)
- 入選発表 平成26年 3月予定

詳細は(財)都市づくりパブリックデザインセンター HP
http://www.udc.or.jp/activities/design/design16_boshu.html

今後の予定

★ 一般参加可能

	上旬	中旬	下旬
10月	<ul style="list-style-type: none"> ★ 中央公園基本計画策定 第1回ワークショップ (10/5) ★ まちフェス (10/6) ★ フクイ夢アート (10/6～10/27) ○ 「まちの活性化・都市デザイン競技」 応募登録締切 (10/7) 	<ul style="list-style-type: none"> ★ えきまえ感謝 Day (10/13・14) ○ 第2回足羽山・足羽川周辺空間再形成 基本構想策定委員会 ○ 「まちの活性化・都市デザイン競技」 現地説明会 (10/18) ★ 中央公園利活用社会実験 第1回中央公園ピクニック (10/19) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第2回福井城址山口御門 復元考証専門委員会 ★ Fukui まちづくりフォーラム 2013 「まちなかで暮らす」@ふく+ (10/27) ○ 足羽山・足羽川周辺空間再形成 「市民意識調査」集計結果公表
11月	<ul style="list-style-type: none"> ★ ふくい冬のイルミネーション @中央公園・駅前電車通り (11/1～1/13) 		<ul style="list-style-type: none"> ★ まちづくりセミナー 2013 「賑わいを創り出す景観まちづくり(仮)」 @福井県国際交流会館 (11/25) ★ 中央公園基本計画策定 第2回ワークショップ (11/30)
12月		<ul style="list-style-type: none"> ★ エキマエハッピークリスマス 2013 	

発行

福井県総合政策部交通まちづくり課 TEL: 0776-20-0724 E-mail: kotsuka@pref.fukui.lg.jp
福井市総務部総合政策室 TEL: 0776-20-5283 E-mail: sougou@city.fukui.lg.jp